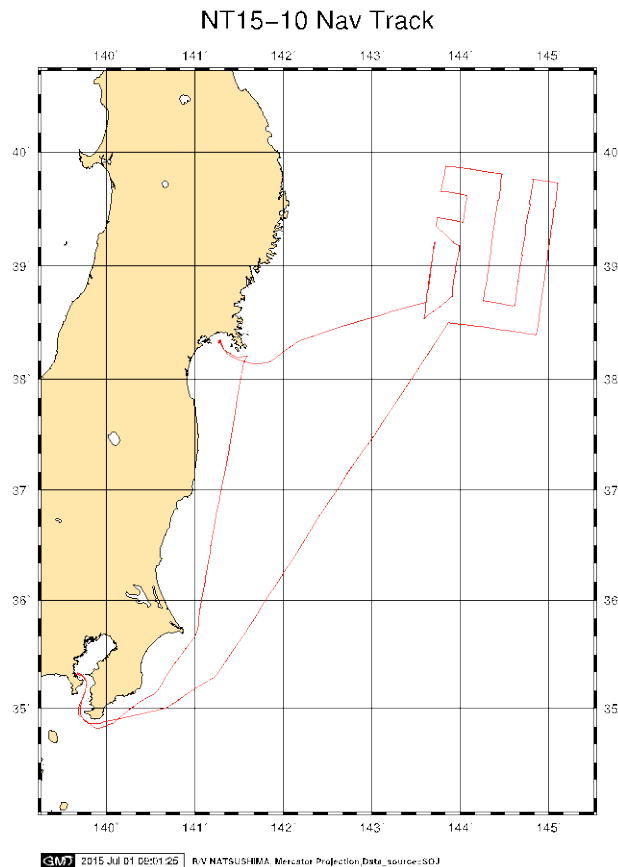


提出日：2016 年 4 月 18 日

クルーズサマリー

1. 航海情報

- (1) 航海番号、船舶名：NT15-10, 「なつしま」
- (2) 航海名称：平成 27 年度 所内利用「海溝型巨大地震・巨大津波:実態解明に向けた地質・地球物理調査研究 5. 海溝軸からアウターライズにおける地震観測」(OBS 設置)
- (3) 研究課題名：「海溝型巨大地震・巨大津波:実態解明に向けた地質・地球物理調査研究 5.海溝軸からアウターライズにおける地震観測」
- (4) 首席研究者：海宝由佳[JAMSTEC]
- (5) 課題代表研究者：小平秀一[JAMSTEC]
- (6) 航海期間、寄港地：2015/6/23-7/1, 横須賀 - 横須賀
- (7) 調査海域名：日本海溝
- (8) 調査マップ：



2. 研究参加者

- (1) 首席研究者 [所属機関名]：海宝 由佳 [JAMSTEC]
- (2) 課題代表研究者 [所属機関]：小平 秀一 [JAMSTEC]
- (3) 研究参加者リスト：
 - 小平 秀一 [JAMSTEC]
 - 尾鼻 浩一郎[JAMSTEC]

高橋 努 [JAMSTEC]
 山本 揚二郎[JAMSTEC]
 石原 靖 [JAMSTEC]
 利根川貴志 [JAMSTEC]
 三浦 誠一 [JAMSTEC]
 藤江 剛 [JAMSTEC]
 中村 恭之 [JAMSTEC]
 海宝 由佳 [JAMSTEC]

3. 実施内容：

(1) 目的：

本航海は、海溝型巨大地震や隣接する海域で発生するアウターライズ地震、そしてそれらにより惹起される可能性がある大津波の発生メカニズム等を解明し、防災・減災に資する情報を収集するために、1896 年の明治三陸地震（津波地震）や 1933 年の昭和三陸地震(プレート内正断層地震)の震源域である日本海溝北部において、海溝軸周辺で発生する地震の詳細な震源分布や震源メカニズムの把握を目指し、自然地震観測を目的とした海底地震計を設置する航海である。

本観測では、自然地震観測によって、東北地方太平洋沖地震発生域北部の三陸沖日本海溝の海溝軸周辺及びアウターライズ海域周辺で発生する地震の実態解明を進める。また、低周波地震のような特異なイベントの検出を試み、浅部プレート境界の摩擦特性の理解を深める。本航海で設置した OBS は、「かいよう」KY15-14（2015 年 9 月）で回収予定である。

(2) 調査項目：

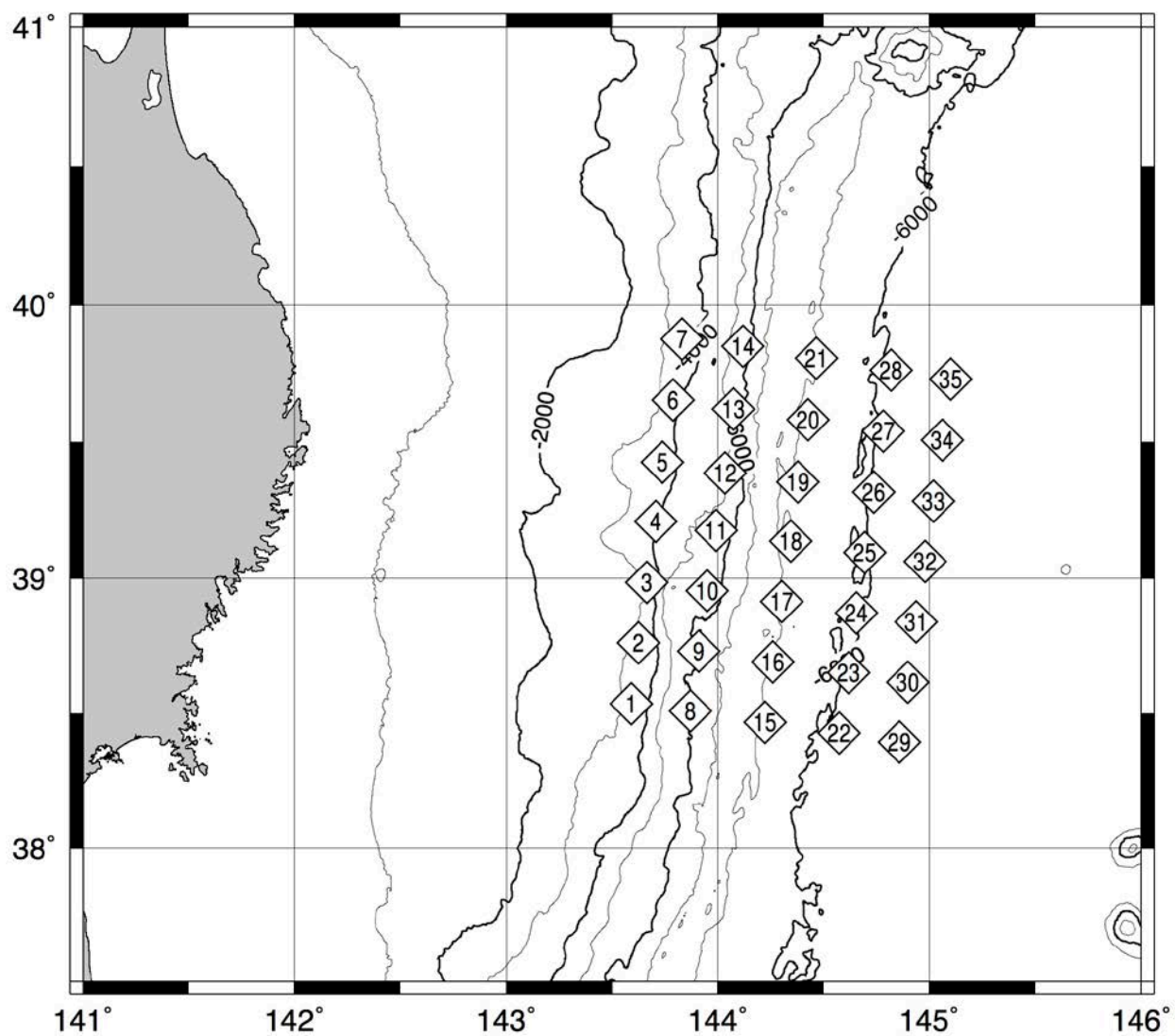
(i)海底地震計(OBS)の設置

35 台の OBS(JAMSTEC 勝島型 27 台、JAMSTEC 超深海型 8 台)を設置した。2 台について位置決めを行った。

(3) 調査日程：

日付		記事
2015/6/23	火	横須賀港出港、回航
2015/6/24	水	海域着／OBS 設置 3 台
2015/6/25	木	OBS 設置 10 台
2015/6/26	金	OBS 設置 12 台
2015/6/27	土	OBS 設置 10 台 位置決め 2 台
2015/6/28	日	荒天避泊(仙台湾)
2015/6/29	月	仙台湾にて荒天待機
2015/6/30	火	調査海域荒天のため、横須賀向け回航
2015/7/1	水	横須賀港着

(4) 調査海域図



シンボルは OBS 設置位置を示す。Site 2 と 3 においては位置決めも行った。